

2010.04.10

ONKYO カセットデッキ K-505の修理

■ ジャンクのK-505



不動品のジャンク

ONKYOのINTECシリーズのカセットデッキ。表示部には、カウンターやレベルメーターが表示される。FRシリーズのカセットデッキも同様の形状、機能をもっているがレベルメーター表示やカウンター表示が無い。

カセットトレーの開閉はできるが、その他の動作は一切できないという不動のジャンクをオークションで見つけた。原因は、おそらくゴムベルトの劣化と思われる。推測を確かめて見たいのとFR-X7やFR-X7Aと組み合わせて使うために入札する。ジャンク品だけに競り合う事も無くあっさりと落札。

■ 動作確認

届いた「K-505」を早速に調べてみる。

出品案内のとおりトレーは開閉できたが、その他の動作は全く駄目であった。早速にケースカバーを開けて内部を調べて見る。長い間使われていなかったようで埃が堆積していた。またヘッド周辺部やキャップスタン軸はテープの磁粉で汚れていた。良く見てみるとシャシー底面に切れたゴムベルトが落ちていた。メインベルトのようだ。不動の原因是予測どおりにゴムベルトの劣化であった。

デッキメカ本体部分を裏返して見ると、もう一本のプーリーベルトは大丈夫であった。手持ちのゴムベルトの中からちょうど良いサイズのものが見つかったので、それをメインベルトとして取り付ける。

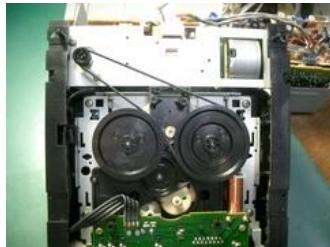
組み戻して動作確認を行うと問題なく動くようになった。この後、ヘッド周りの磁粉の汚れをアルコールで清掃しヘッドを消磁して修理完了とした。



ケースカバーを開ける

ヘッドやキャップスタン軸は汚
れている中から拾い出したメインベル
ト

メカ部分を裏返してみる

メインベルトは切っていた
が、もう一本のプーリーベル

メインベルトを取り付ける

ヘッド周辺部をアルコールで
清掃

トは大丈夫だった
